

Rotary Club of

Kangou

Rotary

イマジン
ロータリー国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報

vol. 14

会員数 101名 | 免除出席者 4名 | 正会員出席者 56名 | 出席者 60名 | 早退 1名 | 出席率 60.61%

プログラム

点鐘(12:30)／ロータリーソング「我等の生業、R-O-T-A-R-Y」／ビジター・お客様紹介(なし)／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘(13:30)〈司会:島村SAA〉

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人



本日の卓話は、国際奉仕委員会(米原委員長)担当です。素晴らしいお土産があるそうですので、楽しみにしています。(五十嵐さんとコラボした、オリジナル大吟醸酒「先週の6日、7日には急に冬が来たようなたいへん寒い(10～

12℃)日がありました。風邪をひかないよう、くれぐれも体調に気を付けてお過ごしください。

さて、今週末は3年ぶりに、川越祭りが開催されます。そこで、川越祭りの歴史を調べてみました。川越祭りは江戸時代、徳川家光の信頼が厚かった、松平伊豆守信綱が川越城主の時に始まっています。家光は川越とはたいへん関係の深い将軍ですが、「いにしえよりあまた将軍ありといえども、我より果報者はあるまじ。右の手に讃岐(酒井讃岐守忠勝)左の手に伊豆(松平伊豆守信綱)」と評し二人を誉めています。二人とも川越城主です。

右手の、酒井讃岐守忠勝は寛永年間に浄蓮寺(明治維新で廃寺となりました)というお寺の境内に時の鐘を建てました。左手の、松平伊豆守信綱は寛永15年(1638年)川越大火の翌年に川越城主となり、城下町の整備と舟運を開始し、慶安元年(1648年)には神輿2基、獅子頭2体、太鼓等を氷川神社に寄進しました。慶安4年(1651年)に、華麗な行列が街を巡行する神幸祭を開催し、川越氷川神社の祭礼『川越祭り』が始まりました。

文禄11年(1698年)には高澤町(現元町2丁目)から、初めて踊り屋台が出たと「武蔵三芳野名勝図絵」に記述があります。享和、文化年間では「江戸の祭りに勝る」と評されて、祭礼番付の東の最上位にランクインしています。天保15年(1844年)には、氷川神社の絵額にありますように山車が、一本柱に統一されましたが、文久2年(1862年)現在のような二重鉾型山車を、志義町(現仲町)が製作し以後、明治から昭和にかけて同じような山車が作られたようです。

2005年には、国の重要無形民俗文化財に指定され、2016年にはユネスコの無形文化遺産にも登録されました。今年には市制施行100周年という記念すべき年で、29台全部の山車が、引き回されることになっています。観光客も沢山お見えになることとされます。おおいに楽しみたいと思います。

10月24日は、「世界ポリオデー」です。ロータリーの友10月号にもあるように、長年にわたってポリオ根絶に取り組んできました。その結果、“野生型ポリオウイルス”が常在しているのは世界でわずか2カ国であり、パキスタンはその一つです(もう一つは隣国アフガニスタンです)。感染者数は昨年まで確実に減少してきましたが、ここ数か月間でイスラエル、イギリス、最近ではアメリカ・ニューヨークでポリオウイルスが新たに発見されました。コロナウイルスも、なかなか根絶出来ませんが、あきらめずに必要なあらゆるリソースを投入し続けることで、ポリオ根絶を実現しましょう!ご協力をお願いします。

国際奉仕委員会(五十嵐昭洋会員)



米原委員長ご提供 大吟醸酒「千の椰」について(※プログラム外)

米原委員長の会社の食材倉庫が不幸にも火災に遭い、その時に唯一、難を逃れたお米「絹娘」を米原委員長の思いを込めて鏡山酒造で醸造致しました。出来ましたら今月中によ

く冷やしてワイングラス等でお飲みください。

次週卓話

新入会員スピーチ：小橋 誠 会員、山田和宏 会員

幹事報告

2022-23年度 副幹事 栗原雄一



※配布物…ロータリーの友10月号、「友」の要約、会報、国際大会ツアーご案内、米山記念奨学会特別寄付のお願い、米原会員よりお酒。
※回覧…11/4(金)親睦ゴルフ出欠、11/27(土)川越ハーフマラソン出欠

委員長報告

2022-23年度 公共イメージ委員会 副委員長 小城直樹

ロータリーの友 10月号について。10月は地域社会の経済発展月間/米山月間です。RI会長メッセージ「ポリオにひかりを当てる」。財団管理委員長からのメッセージでも「ポリオを永久に世界からなくすという全世界の子供たちとの約束をはたす日は一人一人の活動や意識によって、また一歩近づく事になる」と。

10/3～9は「ロータリー学友参加推進週間」でした。ロータリー学友にスポットを当て繋がりを深め、ともに協力する機会を模索することが期待されます。

ニコニコボックス(洞井会員より)

- (株)秀拓チョウフォンツェアさん、齋藤芳和さん本日の卓話よろしくお祈いします。〈会長、幹事〉
- 本日欠席致します。栗原副幹事よろしくお祈い致します。〈野溝〉
- 本日、野溝幹事の代役を務めさせていただきます。宜しくお願いします。〈栗原〉
- (株)秀拓チョウフォンツェアさん卓話楽しみにしています。〈西澤、鈴木(壮)、三室戸、小川、八木、片山、馬場(常)、山田(和)、栗原、和田、西川、水村、住谷、小杉、高橋(哲)、相原、山口(裕)、藤井、齊藤(智)、島村、阿部、山田(哲)、蓼沼、小城、青柳、芳野、上原、佐藤(文)、岩堀、洞井、廣瀬、山崎〉
- 本日はこの様な貴重な機会をいただきありがとうございます。この日を迎える3週間弱チョウ君頑張っていました。かけがえのない経験をさせて頂きありがとうございます。〈米原〉
- 元川越ロータリークラブの会員で、プリンス三代前の支配人奥村様、西武球団社長就任おめでとう。頑張ってください。〈西澤〉

- 妻の誕生日祝い頂きありがとうございます。〈近藤〉
- 早退1名(敬称略)

合計52,660円

卓話

担当：国際奉仕委員会

講師：チョウ フォン ツェア (株)秀拓

演題：インターンシップについて



このようなお話をする機会を頂け、川越ロータリークラブの皆様にご挨拶申し上げます。本日は株式会社秀拓が台湾人大学生をインターンシップ生として受け入れ、どのような取り組みをしているのかをお話しさせていただきます。

最初になぜ私が秀拓に入るようになったのか、自己紹介も含めてお話しさせていただきます。

私の台湾名はチョウ フェンチェと申します。日本の皆様は私の事を「とうま」と呼んでいます。現在23歳で、日本語は7年間勉強しています。

日本と台湾で一番の違いは徴兵があるかないかだと思います。私は既に徴兵を終えています。その内容をお話しさせていただきます。台湾の徴兵制度は、18歳になった男子には軍種決めの通知書が届きます。役所でくじを引き、軍種が決定します。私の場合は陸軍でした。そして、徴兵の通知書を待ちます。いつ来るかはわかりません。私は去年の8月に徴兵に行ったのですが、同級生はまだ徴兵の通知書が届いていない人が多くいます。

インターンシップとは、専門学校生や大学生が自分の将来の道を選択するために、追求したい専門性や将来進みたい進路などに関連した企業で実際に仕事を体験する制度のことで、“就業体験”や“就労体験”とも言われています。特に欧米の企業では、古くからこのインターンシップ制度を採用していますが、日本でも2000年代より徐々に普及し、学生にとっては、実社会に出る前の貴重な経験の場となっています。

最後に、インターンシップは実習生の為だけでなく、迎え入れる当グループの社員にとっても学びの場です。異文化交流を通して相手のことを考える力を養い、当たり前を当たり前と思わず、柔軟な思考を持って問題解決に取り組む人材を育成できる場であると考えています。

弊社のスローガンである「感謝をカタチに、未来につなぐ」インターンシップにおいても実現出来ると、台湾人の私も思っています。

これをもちまして、私のお話を終えさせていただきます。

※詳細はHPをご覧ください。

